

連合教職大学院東京サテライト DEAL (ディープ・アクティブラーニング) 教員研修 実施要項

「教職の理論と実践の融合」をテーマに学ぶこと・教えることを基軸に教育の意味を問い直し、教師の「主体的、対話的で深い学び」の実体験と共に多職種間で協働・探究・省察をしながら学び合う DEAL (アクティブ・ラーニング) 教員研修を実施する。

なお、本教員研修は、健康課題・特別な支援を必要とする児童・生徒に対する「総合的な学習の時間」における海洋教育協働探究カリキュラム開発の一部を教員研修としたものである。

- ・日 程 令和5年8月5日(土)～6日(日)
- ・主 題 「対話と協働・探究・省察を通して、教育の可能性を探る」
- 教師の主体的、対話的で深い学びの実践 -
- ・内 容 教員研修
- ・場 所 沖縄県宮古島市内、宮古教育事務所
- ・参加者 定員 50名 (全国の教員、教育委員会関係者、大学関係者、一般企業、他)
- ・主 催 福井大学連合教職大学院、NITS (日本教職員支援機構)
福井大学連合教職大学院東京サテライト
責任者：福井大学総合教職開発本部 特命教授 福島昌子
- ・協 力 海上保安庁第十一管区海上保安本部宮古島海上保安部
東京都葛飾区立保田しおさい学校
- ・行 程

【Session I】

○ 8月5日(土) 9:00～16:30

子どもと大人が共に取り組み協働探究のフィールドワークを実施する。特別な支援を必要とする健康課題のある東京の小学生が考えた宮古島の探究コースを多様な地域から参加した多職種の大人が協働で子どもの探究思考を巡る。

- 8:30 受付 宮古教育事務所
- 9:00 DEAL 教員研修のオリエンテーション
- 9:30 子どもが考えた探究思考宮古島コースのフィールドワーク
各班に分かれ出発
各班ごとでの昼食
- 16:30 宮古教育事務所に班ごとに集合し、まとめのワーク
- 17:00 解散

【session II】

○ 8月6日(日) 9:30～16:30

健康課題のある寄宿舎療養型特別支援学校(小学校)の総合的な学習の時間「協働探究」の実践報告を行い、大学教員による対談から協働探究、実践の意味を問い直す。Session Iを受け、地域を超えた多職種間での子どもと大人の協働探究実践の取組を共有しラウンドテーブルを実施する。

- 8:30 受付・集合 宮古教育事務所
- 9:00 全体会 (協働探究の理論と実践)
テーマ「子どもと大人が共に創造する協働探究の地平 (仮)」
講演・実践報告：福井大学連合教職大学院 特命教授 福島昌子
対談：福井大学連合教職大学院 特命教授 福島昌子
福井大学連合教職大学院 講師 宮本雄太
- 10:15 休憩
- 10:25 実践報告およびラウンドテーブル
相互的なリフレクションと展望
- 12:20 諸連絡
- 13:45 島尻漁港 集合 参加希望者のみ
大神島の小中学校跡地を巡る実地研修と省察
- 16:15 大神港 集合
- 17:00 島尻港 解散

- ・参加費（実費経費）
無料 ※フィールドワーク時の体験、拝観入館料等、昼食は各自でご負担をお願いします。
- ・申込期間
2023年7月5日（水）～7月25日（火） ※ 定員になり次第締め切ります。

- ・参加申し込み

①または②からお選びください。

①8月5.6午前まで参加 ②8/5.6午後まで参加

下記申し込み URL から申し込みいただけます。



<https://forms.gle/xPbUXTV7fNL8dsdA>

- ・問合せ先

連合教職大学院東京サテライト 福島昌子

E-mail:kanna.chura@gmail.com TEL.080-2962-8102

（諸注意）

1. 参加者は事前課題を7/20（木）～8/4（金）までに視聴をお願いします。
参加申し込み後に、視聴 URL を配信します。
2. 持ち物
8/5：事前配付資料、自己課題、帽子、虫よけ、日焼け止め、飲み物、他
8/6：帽子、日焼け止め、飲み物、水にぬれても良い服装、靴・アウトドアサンダル
（クロックスOK）、サングラスなど他は各自必要に応じて用意。

※ラッシュガードなど日焼け予防の長袖は必需品です。
※雨でも決行のため、傘、カッパ（100均のものでも十分です）をご持参ください。ダイソーが宮古島にもあります。
3. その他
 - ・宮古島現地集合・解散。
 - ・交通機関、宿泊施設等は各自でおとりください。
 - ・離島の研修会のため保険に入っておくと良いかもしれません。



独立行政法人教職員支援機構

本教員研修は、教員研修は独立行政法人教職員支援機構の2023年度「新たな教員研修事業」に採択され、福井大学連合教職大学院とNITSのコラボ研修になります。したがって、研修会報告書が2024年度の一年間にわたりNITSのHPに掲載されますことをご承知おきください。

【教職員支援機構とは】

独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N、I、T、S」の頭文字を取って、「NITS（ニッツ）」を略称としています。

【NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業とは】

教職員支援機構（NITS）が、「学び続ける教員像」の具現化に資するため、各地域における現職教員の研修の高度化・体系化を実現するための支援をするものとし、各教職大学院等が実施する研修、セミナー、ワークショップ等の開催にあたり所定の補助を行う事業です。